



歓迎会を終えて、後列右から3番目 岩崎神父様

島のひかり ホームページアドレス

<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会  
広報委員会  
五島市平蔵町2716  
TEL 0959-00072  
印刷・(株)才津印刷所

## 「つながる」

主任司祭 岩崎 晋吾

人と人が出会ってまずやるべきこと。それは「つながる」ことだと思っています。人は出会って、相手と顔を合わせ、名前を知る。次第に性格が分かり、その人の過去や生き方などが分かってくる。次第に性格が分かり、その人の過去や生き方などが分かってくる。でもそれで相手とつながったわけではありません。つながる相手をやっと「知った」というところでしょうか。「つながる」というのはその後によってくる重要な人間関係です。人間関係においておおよそつながっていない状態にある者同士で問題が起こります。相手を誤解し、偏見が生まれて、ねじれた関係で真のさわやかなつながりを失ってしまうのです。

つながるための絶対条件を挙げるならば、それは、出会って知ったその人を「受け入れること」であり、そしてその人にこ

の私を「受け入れてもらうこと」です。つまり、お互いの良いも悪いもすべて含めて出会った者同士が受け止め合い認め合うことが絶対の条件となります。

もし、今年の私の司牧のテーマを掲げるとしたならば、この「つながる」ということになるでしょう。つながって初めて物事がうまく通じ合うからです。地区集会が行われています。良くわかり合ってよく受け入れられています。どうぞよろしくお願いします。



# 信徒総会終わる

4月24日、復活祭ミサ後二〇一〇年度信徒総会が、岩崎主任司祭の下に開催された。

この日はミサが一回だけと言う事もあって、出席も良いだろうとの思いで行なわれた。



活動経過報告、小教区会計報告、並びに堂崎歴史資料館会計報告、二〇一一年度活動計画案が報告され、総て承認された。

今回の主な議題としては、二〇一四年に小教区設立45周年に

向けての事業内容として、神羊館トイレ改修工事は昨年12月に終了。これからの事業として、教会トイレの水酸化新設工事、

それに伴う水道補修工事、教会裏の駐車場増設(将来、高齢

化を考えて)、浦頭教会、宮原教会、半泊教会に案内板設置を計画しています。その費用を各

戸七万円拠出して頂く事を再確認し、信徒のご理解とご協力を得て承認して頂きました。

これに向けて、昨年より積み立てを始められている地区もあり、本当に有難い事と感謝いたします。

最後に、一信徒より提案がありました。聖堂内で大人が前の方に座らないその解消法として、今、子どもが少なくなったので、子ども席を少なくして、中間の衝立を前に移動しては、との提案があり実行に移したところ、現在、少しではありますが良くなったように思います。

## 井持浦 「ルルド祭紀行」 6/29

聖母行列は雨で断念と思いき

や、マリア様は御堂正面玄関より有志に担われ聖歌に迎えられ中央に：促され、花まき宜しく脇にて退場。花束・ローソク奉納は堂内のマリア様に！こんな粋な進行の出来るのも、百年にも及ぶ歴史があればこそ：中でもピカーは、浦頭男性聖歌隊の美しい調べでの奉仕!!途中、お日様も顔を出し、雨にも負けなかった参加者にご褒美。帰りに数は限定で絵皿のお土産付き。説教でルルドが井持浦にあることの意味はの問いあり、そこで考えた。ルルドといえばマリア様。完全無欠の神様に対し、マリア様は聞き上手な母、癒しの魔法使い「痛い痛い飛んでゆけ」で解決。重傷の時の手当がルルドの聖水。私ごとですが、体に変調を感じ、頂き物の本場のルルドの聖水を飲み祈った。

あれから四年あまり、まだ過酷なりハビリは続く。途中、主人を亡くし独り暮らしを信仰が支えた。愛には愛を、教会奉仕は超自然だった。

今年もルルドの聖水をガブ飲みました。でも、今のままでも充分幸福だと感じられるのも、神のなせる業なのかもしれない。ルルドが日本の最西の地にあっても、私の近くにあっても本当によかった。遠い道のりは自分が一番不幸なのか問う旅であり、強く願う心が奇跡をうみ、又、丸ごと受け入れることで癒され、マリア様の愛を実感でき、他を思いやる心を育む。これが多分？井持浦ルルドの効能ではないでしょうか!! なんてね…。

江口 初子



# 岩崎神父様浦頭教会着任後

## 初の誕生会

四月に浦頭主任司祭に着任されました、岩崎晋吾神父様の誕生会が七月十日に神羊館ホールに於いて行なわれました。

議長、竹山要司さんのお祝いの言葉を述べるとともに、婦人部々長の花束を受け、浦頭教会で初めての誕生会になります神父様も、ちょっと緊張していたようですが、解れてきたように感じました。

ユーモアを交えた参加者のスピーチに会場も笑顔、笑顔の連続。また、当日行なわれました奉仕作業のノドの渇きを補うかのごとく、ビールのすすみ具合もすごいものでした。当日に準備された料理の他に、婦人部や「腕に覚えあり」の釣師達の海の幸の差し入れ等でテーブル満載の食物、総勢70名の皆様の五臓六腑にアルコールと共に行きわたったようです。



このように多数の信徒参加の誕生会を迎えた岩崎神父様は、東海道新幹線開通、東京オリピック開催と明るいニュースの多くあったと思います、昭和39年7月6日誕生日の長崎・飽ノ浦出身です。聖歌を歌うソフトな甘い声に、現代風な言葉で言いますと「イケメン」です。浦頭教会での御活躍、期待します。また各委員会の方々、お疲れさまでした。

## 奉仕作業

5月25日(水)、シメオン・アンナ会が教会周辺の植木の剪定作業。梅雨が明けた7月10日(日)には壮年会・婦人会合同で堂崎教会・半泊教会の周辺の草刈り作業が行なわれました。又、同日シメオン・アンナ会が故中村長八神父様生家周辺の清掃作業を行なっています。

堂崎教会の草刈では薄曇りの恵まれた天気の中、数十台の草刈機が「ゴォー」と大きく鳴り響き、どんどん草が刈取られ、1時間半で「さっぱり」ときれいになりました。暑い中、汗をかかれた皆様、本当に御苦労様でした。



## おたより

十 主の平和  
神学校に来て、神学生と共に頑張っています。  
これからも、島のひかり頑張ってください。

長崎カトリック神学院

眞浦健吾神父様

先日の巡礼に際しましては、大変お世話になりました。皆さんの温かいご奉仕は、神学生の心にもしっかりと焼き付けられました。

聖ルドヴィコ神学院

浜口末明神父様

毎回、島のひかり送って下さってありがとうございます。  
出てくる人の顔は、わかりませんが、お名前前で想像していません。申し詫けありません。

北九州市 竹山 要

## ありがとう

長崎市 浜口 末明神父様  
福江 赤尾 文子様  
長崎市 大浦 喜一様  
長崎市 眞浦 健吾神父様  
北九州市 竹山 要様

## じしゃになってよかったよ

ぼくは、はじめてじしゃをしたときは、すぐドキドキするぐらいきんちょうしました。かねをならすときが一ばんきんちょうしました。あと、かみにかんしゃと言うのも、きんちょうしました。じしゃは、四回くらいしました。じしゃはたのしいけど、むずかしいです。でも、これからもがんばろうとおもいます。

二年 なべ内 りく

わたしは、2年生になってはじめてじしゃをしました。どきどきしました。みんなでじしゃをしたのが一回、そうたくさんしました。あさみさをしました。それで二回です。二回るときにいっぱいまちがえました。また、いっぱいしたいです。みんなです。わたしは、まだ鐘をならしたことがあります。はじめてじしゃのふくをきたとき、ぶ

かぶかでした。しんぶさまのよこにすわってどきどきしました。じしゃをしたら、しんぶさまがすぐ目のまえにいるのでしんぶさまをずっとみれます。これからもがんばりたいです。

二年 白はま みく



わたしは、はじめてじしゃをしたとき、いろんな人がいて、どきどきしました。はじめは、2年生から6年生まで、ぜんいんでしました。わたしは、「かみにかんしゃ」とか、かねならしや、水をはこ

んだりしませんでした。わたしは、ずっと、たったり手をあわせたりますわたりしてました。だんだんつかれてきました。もう一回やってみたいです。つきは、かねならしをやってみたいです。じしゃはやってみたいけど、じしゃのふくがあつくなくてきます。

二年 はまさき さやか

ぼくは、はじめてじしゃをしたときは、きんちょうしました。足がふるえました。ぼくは、どろろき教会の当番です。鐘はならしたことはありません。今まで、5回くらいです。りくくんとしたときは、1回鐘をならしました。むずかしくて、きんちょうしました。ぼくは、ぼーっとして、鐘をならすのをわされるるところでした。次は、りく君と、ぼーっとして、ぶとう酒と水をいれるのをわすれそうになりました。また次も、ぼくとりく君で、水と手ふきをするのをわすれました。じしゃは、

むずかしいけど楽しいです。

三年 入口 駿一郎

私は、6月のどうぎき教会で、初めて、かねをならしました。きんちょうすぎて、しんぶさまに、水をいれるのをわすれていました。赤さこシスターに、「まお、まお、わすれているよ」といわれたので、いそいで、入れました。

私は、ずっと「じしゃは、女の子は、できないのかなーとおもっていました。だいたい6回くらいやりましたよ。

たのしかったです。

火よう日ずっとやりたいです。がんばります。

いっせいくんや、そうたくさんみたいに、じょうずになって、ほめられるじしゃになりたいです。

四年 入口 舞桜

私のはじめてじしゃをしておもったことは、三つあります。一つめは、いがいと楽しいこ

とです。おぼえるのはとつてもむずかしいけど、いがいと楽しかったです。

二つめは、ちょっとわからないうところがあるところですか。ここはすわるところ？ たつところ？ というところがたまにあります。三つめは、みんな下にいますので少し上からの視線が気になります。おぼえるのはむずかしいけど、これから、こうがくねんとしてがんばりたいです。

五年 大浦 緋莉

さいしょ、ぼくは、じ者はそこまできつくはないと思っていましたが、6年生の今は、とてもきついです。でも家族や貧しい人たちのためにもがんばっているのっています。成長したところは、かねの音が弱いのが今は、強くならせるので、そこが成長しました。だから、ぼくはこれからも神様や家族、貧しい人たちのためにいのりたいたいです。

六年 濱崎 吉成

ぼくが最初に侍者をしたころは失敗ばかりしていました。なので、今の目標は失敗をできるだけへらす事です。玉之浦ルルド祭のときはちょっとキョロキョロしてたけど、大きな失敗をしなかったのよかったですと思いません。ルルド祭で侍者をできてよかったです。とにかく覚えたらけっこう楽しいです。

六年 鍋内 颯太



## 地区集会始まる

四月より、岩崎晋吾神父様を迎えている浦頭小教区ですが、神父様の発想により、信徒の顔と名前を覚えるために、地区訪問をして親睦をはかりたいとの事で、六月十二日、半泊地区を皮切りに十九日は宮原地区であり酒を酌み交わしながら、カラオケもあり楽しい交流が出来ました。十月までに全地区を廻る予定です。

## 奥浦のキリスト教遺産群(Ⅵ)

### 五島の最初の教会

長崎ウエスレヤン大学講師(非常勤)

加藤 久雄

五島にキリスト教が伝来したのは1566年、フランシスコ・ザビエルが日本に初めて伝えてから17年後のことである。当時の

五島の領主18代純定の要請により、修道士アルメイダとロレンソが江川港に入った。アルメイダは領主や家来に20日ほど教理を説き、そのうちの25名が洗礼を受けた。このことを知った奥浦の人々はアルメイダを迎え、そこにあった寺の仏像を他の場所に移し、日に2回の教理を聞き、120人余りが受洗した。早速、人々は教会を建てたいと願い、領主に許しを乞うた。領主は自分の別荘を移して建てることを許し、家来24名と100名ほどの職人を遣わして、土地を造成して教会の建設を支えた。その位置は海中に突き出た丘で、高さは槍2本、幅は30メートル、

長さは90メートルほどで、2筋の川の流れが丘を挟んで海に注ぐ景勝の地で、それは村人たちが教理を聞いた寺の辺りであるうとしている。その後、アルメイダの後任としてパプチスタ・モンチ神父が来島し、奥浦で初めてご御降誕のミサがおこなわれたとある。

この奥浦の教会があった地は、諸説あるが現在の栄林寺の周辺が有力である。五島列島の前期キリシタンの物証や遺跡がほとんど確認されていない中、検証できる可能性のある『遺跡』が奥浦には存在する。このように数少ない、文献から考証地の段階で留まっている前期キリシタンにかかわる重要な『遺跡』は、発掘調査等の実証的解明が待たれる五島キリシタンの文化遺産である。



## 『シノドス』について

2015年長崎教区は信徒発見150周年を迎えることとなります。この記念すべき年に教区は教会の成長を目指した取り組みを今年から行なおうとしています。

今から約50年前、第2バチカン公会議が行われ世界のカトリック教会は大きく変化してきました。この会議は教会が人々のために真の姿となっていく大切な会議で、教会史上最も重要な節目と言ってもよいでしょう。今日、日本語でミサをささげることができるようになったからです。他宗教関係や現代社会の問題に教会がより深く福音の光によって関わるようになってきたのもあの会議によるものです。しかしまだ公会議の豊かな内容が十分に教会に根差したわけではありません。それは、これからも教会共同体が祈りと工夫を持って達成していかなくてはならないものなのです。そこで長

崎教区は2015年を節目に「参加し、交わり、宣教する教会」というバチカン公会議の精神を長崎に生かそうとしているわけです。いわゆる長崎版公会議Ⅱシノドス（代表者会議）と考えられます。

50年前の公会議はイエスキリストに立ち返って、福音に照らし教会の歩みの軌道修正をしたのです。教会の使命、信仰と社会、信仰者とその生活などを考え、真の道が示されました。軌道変更ではありません。過去を否定するのではなく、長年の歩みで歪みが出てきたところを修正したのです。長崎教区も同じです。過去を振り返り、そして、現代においてこの長崎の地で、教会はどのように未来を歩んでいけばよいのかを、あの公会議同様、イエス・キリストという原点に返って軌道を修正し方針を立て、2015年歩み出そうとしています。シノドスというのは、そのための大きな節目となる会議です。そしてそのため

の準備が今年から始められます。それで、今年取り組みですが、それぞれの教会で「家庭」をテーマに現代の問題となるものを分かち合うことになっていきます。

「家庭の絆の問題」、「少子高齢化」、「結婚・出産について」、「家庭内暴力」、「子供の教育」、「女性の尊厳」、「障害者の尊厳」、「仕事と生活の問題」、「家庭の信仰教育について」、「教会離れ」、「召命減少」など家庭内の問題は様々です。教区は8月以降に分かち合いのための手引きを出すことになっていきます。この手引きに従って私たちも分かち合いを始めたいと思うのです。今すでに行われていきます地区集会を利用し分かち合います。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

（分かち合いの内容は地区に集約されシノドスへ提出されます）



秘

跡

### ○永遠の安らぎを

四月三十日

ヤコブ 鍋内 芳守 75才 浦頭

五月三日

ユスチナ山口サダ子 82才 大阪

五月十三日

マルタ Sr梅木マシ 88才

五月二十六日

マリア 三藤とし子 82才 長崎

六月十九日

ルチア 鍋内トミノ 79才 浦頭

六月二十九日

マリア 宮崎 チョ 93才 宮原

### ○幼児洗礼

クララ 白浜琉唯（武・生路）

### ○転出

大浦喜市・トメ（長崎城山教会）

富上 成美（南米・ポリビア）

### ○転入

赤尾 由紀（長崎・城山教会）

## 五島巡礼に感謝して

瀧口 末明

五月の連休に、神言会の神学生を五島へ連れて行きました。神学生は現在四名ですが、長崎教区出身者は一人もいませんので、教会巡りをしながら、五島の信者の方々の信仰生活に触れさせたいとの願いからでした。新しく就航した「フェリー万葉」に揺られて福江に到着した頃は、幸いに天気も回復していましたが、前日の強風による黄砂現象で視界は不良。残念ながら、五島の美しい海や景色を見ることができませんでした。それでも、福江教会を皮切りに下五島の教会を順次巡り、夕方には浦頭教会に到着。信者の方々が準備してくださった五島の味覚をご馳走になりました。宿泊は、経費を節約するために寝袋で信徒会館に：と予定していたのですが、「神学生を床に寝せるわけにはいかん」と、布団を手配してくれた信者さんが

いて、そのご厚意に甘えることに致しました。

翌日は堂崎教会へ巡礼した後上五島へ渡り、二泊して中通島の全部の教会を巡りました。

神学生たちも、辺鄙なところ建っている教会が多いのは、禁教時代の名残であることを知り、その信仰の深さに触れることができたようです。また「神学生だから大事にしてくれる」皆さんの信仰の姿勢も、心に深く刻まれたようです。

お世話になりました神父様、信徒の皆さん、本当に有難うございました。この巡礼が、今後も召命の道を歩み続ける神学生たちにとって、大きな恵みとなることを願いながら、人数は少ないですが、今後とも大切に育てていきたいと思っています。



## 広報委員会に入って

入口 信

今年の三月で青年会を卒業し、島のひかり編集長である木口重憲さんからのお誘いがあったて広報委員会に入りました。

昔から文章を書いたり、日記を付けたりするのは苦手で、仕事や趣味でも自分に合った体系的な事ばかりしている私ですが、広報誌作成は記者になった感じがしてだんだん興味がわいてきた事も入会した理由かもしれせん。

初めての顔合わせは島のひかりの発送準備日であったため、大量の「ひかり」が用意されていました。私が想像していたよりも数多くの市内・県内・県外に発送しているのだなあと思えました。そして各委員のみなさん、持ち場での流れ作業をスムーズに行い始め、私は広報誌を三つ折りにする係を始めましたが：どこかの工場ならラインストップさせていたかもです。先輩に

折り目のコツを教わり、アドバイスとして繊細に、かつ大胆に折る事を受けてラインを流せるようになりました。

以前の島のひかりを見ていると、自分が生まれる前から活動されており、長い歴史がある事を改めて感じました。読み進めると途中から私の名前が洗礼式、初聖体、堅信式、結婚式、子の洗礼式等記載されている事を発見。生まれてからの思い出を、写真で残しているのと違った感覚で見入ってしまいました。

これからは、載せる立場からみなさんにローカルな話題をお届けできるように勉強しつつ頑張りますので、取材や原稿依頼をお願いする時は、宜しく願います。



ふるさとだより

「県大会に出場して」

五月十四日、長崎県ねりんピック大会に、ペタンク競技で出場しました。会場となった多良見なごみの里運動公園には県下から七十二チームの選手達が集まり、十六パートに分れ、予



選三戦を行い、二勝一敗でしたが、どうにか得失点の結果一点の差で決勝トーナメントに進む事が出来ました。

決勝トーナメントの第一戦は島原チーム、十一対二で勝ち、準々決勝に進みましたが、十対六とリードしながら最後の一点が取れず、逆転されてしまいました。一点差に喜び、一点差に泣いた県大会でしたが、沢山の

人達に応援して頂き、有難度うございました。又、次回を目指して頑張ります。 赤尾スエミ

堂崎駐車場

「装いを新たに」

私達、浦頭小教区信徒の信仰の拠り所である堂崎教会の駐車場一帯が再整備され、5月8日落成式が行なわれた。

市は2005年に堂崎公民館横の駐車場と、教会を横したトイレを整備していたが、駐車場の案内板は色あせ、トイレのデザインが周囲の景観とマッチしていないとの県からの指摘も受け、再整備に取り組んだ。

駐車場の一部には、堂崎信徒の下絵のもと樗ノ浦の陶芸家中村温美さんが製作したタイルも貼



られ、木と砂利が使われた配置により自然との調和が図られた。

当日は市・教会関係者や地元住民70〜80名が集まり、餅まきも行なわれ笑顔で完成を祝った。

県中総体に向けて

川口 良平

五月二十二日の中総体では、足が震えるほど緊張しました。それでも、試合ではミスも多かったです。結果は、地域のみなさんの応援があつて勝つことが出来ました。

そして、次は県中総体という目指し続けていた目標になりました。だから、この大会には新たなスタートという気持ちに切り替えて、頑張っていきたいです。実際、大会まで時間はありません。残りの練習時間を無駄にせず、少しでも良くなるようにしていきたいです。

県中総体では、一試合に集中して一回戦、二回戦と勝ち進みたいですね。そして、今まで支えてもらったいろんな方々に感謝しながら、臨みたいですね。

編集後記

東日本大震災後の東北の方々の整然とした対応に、全世界から賞讃の声が寄せられ援助の手が差し伸べられた。

地域、集落をまるごと破壊しつくした大津波にも負けず、諸外国のような略奪や暴動も皆無で、肉親を失いつつも想像を超える「天災」を受け入れ、前向きに生きようとされている姿。

私達が何らかの形で再建に協力しなければならぬのに、逆に勇気を頂いている事に不思議さを感じながら、東北の方々のもう一つの苦しみ「原子力」の事を思う。こちらは津波とは違い、「人災」の要素も大きく放射能への不安は続く。

浦頭教会で行なった震災への募金には、沢山の御志を頂き有難うございました。今後も様々な形で東北再建へ御協力下さい。

木口 利光